

# 「アユの駅」

岐阜県の玄関に、せせらぎ河川に鵜船を浮かべ、篝火を炊き、水際に植物を配置し、川には魚道が作られた市民の憩いの場があります。ここがアユの駅です。

岐阜駅南側に出ると、トラック式らせん魚道やスロープ式魚道が設置され、最上流には漁法の登り落ち仕掛けが作られ、アユが再び元に戻る工夫がされアユがくりかえし遡上できるようになっています。皆さん岐阜駅に来られたおりに一度ご覧ください。



この地域は昔から内水面漁業が盛んで鵜飼をはじめとする川文化を育んできた地域です。建設省が平成3年に「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」として最初に揖斐川及び長良川を指定し、横断工作物の魚道改良を進めてきた河川です。この度、今まで実施してきた事業の効果と課題の整理を技術レポートとして取りまとめ、「魚が住みやすい川づくり事業」を展開する手引き書の作成を行います。



その調査途上の、揖斐川及び長良川の魚道実態を紹介します。この川には109箇所の横断工作物が設置され、魚道が設置されているのは65%で10種の魚道タイプが見られます。何故こんなに多くのタイプの魚道を設置しているのか、この魚道で魚は遡上でき

## 岐阜分室長 大河内 八郎



るのか、対象魚種は何かと、今回の魚道調査を通じ、改めてその魚道のあり方・設置場所、その良否を考えさせられました。ちなみに揖斐川・長良川に魚道が設置されている横断工作物は71ヶ所で、魚道の設置数は、それぞれ50ヶ所、44ヶ所となっています。工作物一ヶ所あたり魚道設置数は1.3個となっています。タイプ別に見ると階段式がそれぞれ36個、20個と圧倒的に多く、次いで粗石付き斜路タイプでそれぞれ9個、14個となっています。その他の魚道は、別表のとおりです。

魚道タイプ別設置数

魚道タイプ	揖斐川	長良川	計
階段式魚道	36	20	56
粗石付斜路魚道	9	14	23
扇形魚道	3	1	4
棚田式魚道	0	2	2
全面魚道	1	1	2
デニール式魚道	1	1	2
ロック式魚道	0	2	2
スパイラル魚道	0	1	1
アイスハーバー型魚道	0	1	1
せせらぎ魚道	0	1	1
計	50	44	94

魚道設置場所の河川の物理特性や魚種の性質を十分検討され魚道を設置されていますが、何故か同じ間違いを犯しているもの、土砂堆積傾向や河床低下傾向にある場所に魚道を設置しているものもあります。これら魚道を設計する技術者に「画像で観る魚道設計の副読本」を作成し、魚道の特質や河川物理特性を解りやすく説明し、技術者に魚が住みやすい川づくりを進めていただきたいと思うのであります。

